



博物館学校地域連携
教育支援事業

メールマガジンWebページ

NEWS



YAMAGUCHI MUSEUM
山口県立山口博物館

開館100周年記念マスコットキャラクター なっとくん

2013年2月(9号)

アンケートのご協力ありがとうございました

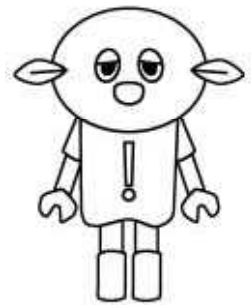
「1月行く、2月逃げる…」の言葉どおり、2月も終わろうとしています。各学校におかれましては、今年度のまとめや卒業、進学、進級の準備の時期に差し掛かり、お忙しい時期を迎えられていることと思います。

さて、昨年末に県内各小中学校、総合支援学校に博物館学校地域連携教育支援事業に関するアンケートをお願いしましたところ、お忙しい中にもかかわらず、多くの学校からご回答をいただきました。貴重なご意見をいただいて大変ありがたく存じます。

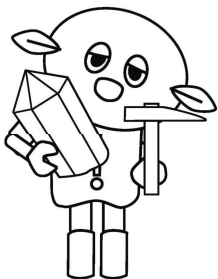
今号は、アンケートの結果を受けて、本事業の見直しと今後本事業が対応すべき課題についてまとめてみました。また、アンケートの設問中、自由記述の欄にご意見やご質問をいただいておりますので、それについても述べておきたいと思います。

アンケートの回収率について

アンケートの実施にあたり、時季的なことも考慮して、6割程度の回収率を想定していましたが、**小学校62.0%、中学校45.6%、他64.3%、全体では56.5%**のご回答をいただいています。全体では当初想定していた6割にほぼ達していますが、残念ながら中学校からの回答が半数を割っている点が、本事業の課題を示唆していると感じています。



アンケート結果から見えること



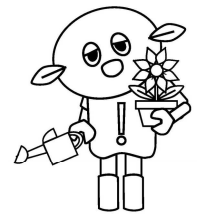
今年度は、社会見学、館内授業などの来館利用、出前授業の利用とも、小学校が8割以上を占めています。アンケートの回収率からも推し量れることは、来館利用に関しては、「小学校では**社会見学の見学地**として博物館が組み込みやすい」、出前授業に関しては、「講座の内容が小学生にとって**学習内容の理解や定着に有用**である」と判断されている、ということ。一方で、中学校は、年間の指導計画に組み込める**出前授業の内容や貸出教材の不足**が、利用数減少の一因といえるかもしれません。

また、来年度の利用に関しては、今年度利用していただいている学校については**利用予定が『ある』『検討中』を含めて9割に達**しており、利用のない学校については**『未定』が7割を超え**、過去に利用されている学校は再度の利用を考えておられるように感じました。

本事業の利用促進に関しては、『**広報活動**』の**充実**を挙げられている学校が多数あり、「博物館だより」「メールマガジン」を含めたさらなる広報活動の充実を図る必要性を感じています。一方で、回答いただいた中学校のうち「**出前授業**」「**貸出教材**」の**拡充**を望む声が合わせて**4割に上**っています。今年度利用の減少した中学校への対応を早急に考えていく必要性を痛感しています。

詳しくは年度末に各校に配付予定の本事業報告書をご覧ください。

貴重なご意見・ご質問ありがとうございました。



アンケートに際して、貴重なご意見や本事業利用にあたってのご質問をいただいております。せっかくの貴重なご意見・ご質問ですので、県内各校にお知らせしておくほうがよいと考え、本紙面にてご回答することといたします。

◇手続きが分かりづらい…3月に博物館 For School のホームページをリニューアルします。より見やすいページとなっておりますので、ご覧下さい。

◇出前授業の内容・貸出教材を拡充してほしい…多数の学校より同様の要望をいただいております。『本物に触れる』を基本とした内容の拡充を検討しております。

◇遠方なので利用しづらい…出前授業は基本的に無料で県内どの地域にも訪問して実施します。ご遠慮なくお申し込みください。貸出教材については恐れ入りますが、ご利用の学校で運搬をお願いしています。

◇メールでの質問などに対応してほしい…現在メール等での質問には対応しておりません。お手数ですが、お問い合わせ等は電話等でお願ひします。

今年の天文現象は？



2012年は「**金**」の年でした。5月21日（月）の**金環日食**（山口県では部分日食）に始まり、6月6日（水）には**金星の太陽面通過**（日面経過）、8月14日（火）未明には月による**金星食**（月が金星を隠す現象）があり、オリンピックイヤーにふさわしく、

まさに「**ゴールド**」の年となりました。（上の3写真は、いずれもMTが撮影したものです。）

さて、2013年注目の天文現象は…？

どうやら今年は、『**彗**』の年となりそうですよ。

すでにマスコミやネット上で話題になっており、ご存じのこととは思いますが、今年は大彗星（になりそうな天体）が2つ接近していることが分かっています。

1つは3月10日に近日点を通過する『**パンスターズ彗星**』、もう一つは11月29日に近日点を通過する『**アイソン彗星**』です。（ただし、両彗星とも観望に最適の条件ではないそうですが…）特にアイソン彗星はかなりの明るさになり、肉眼でも見えそうだと予想されています。ちなみに、両彗星とも、今回の接近が最初で最後になり、今回を逃すともう見る機会はありません。

春と晩秋のひと時、日常の喧騒から抜け出して、宇宙からの贈り物に胸を躍らせてみませんか。



『ハール・ボップ彗星』

～彗星の名前ってどうやって付けるの？～

基本的に、彗星には発見した人やグループの名前がつくのですが、

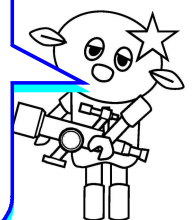
『パンスターズ彗星』（C/2011 L4 PanSTARRS）はハワイにあるパンスターズ（Pan-STARRS）という4台の望遠鏡を用いたシステムを用いて発見され、

『アイソン彗星』（C/2012 S1 ISON）は国際科学光学ネットワーク・ISONのメンバーによって発見されたため、それぞれの名前が付けられました。

個人名をついた彗星としては、日本では

『池谷・関（イケヤ・セキ）彗星』

『百武（ヒヤクタケ）彗星』が有名ですね。



なお、観望の詳細については、**当館学芸課学芸員まで**お問い合わせください。